

富士宮市×NPO法人母力向上委員会

‘あってよかった 会えてよかった’ コンビニ発の子育て支援 実践報告

ふじのみやベビーステーション事業
社会的インパクト評価報告書ダイジェスト



ふじのみやベビーステーション、略して“ベビステ”は、富士宮市とNPO法人母力向上委員会との協働事業です。コンビニを始めとした富士宮市内の施設でハードとソフトの両面からのサポートを通して、子育てにかかる負担を軽くし、笑顔で子育てができる環境づくりや、社会のみんなで子育てするまちづくりに取り組んでいます。



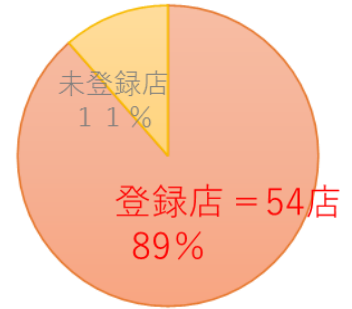
モノのサポート

登録店舗数

- ・事業5年目（2019年）…**54店舗**
=市内コンビニ**89%**が登録店
となりました。
- ・公共施設9施設、NPO認定型ベビ*ステ9施設
もベビ*ステ登録。
- ・2019年現在、市内で**合計72施設がベビ*ステ。**

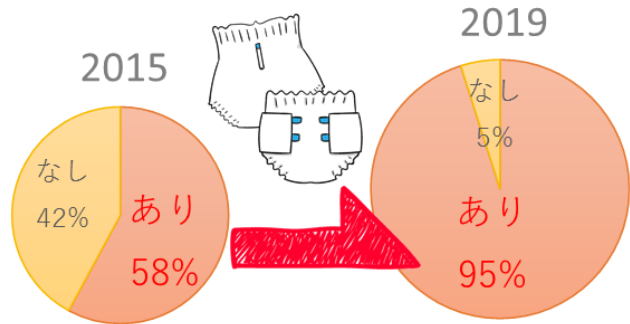


2019



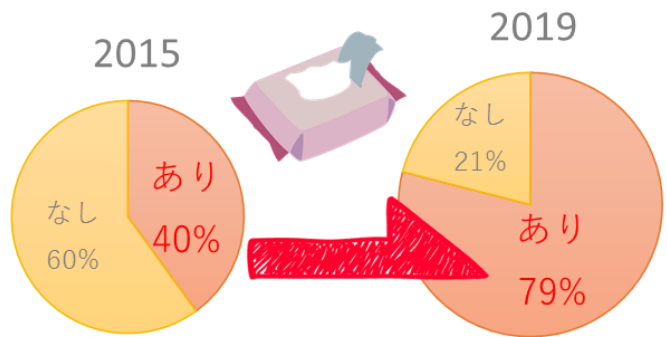
紙おむつの販売

- ・ベビ*ステ事業実施前の2015年は、市内**58%**のコンビニで紙おむつの販売がありました。
- ・事業5年目（2019年）には市内**95%**のコンビニで紙おむつの販売があります。
- ・近隣の**A市では紙おむつ**を販売するコンビニは**42%**にとどまっています。（2019年）
- ・2015年には2種類以上の紙おむつを販売する店舗は**7店**でしたが、2019年には**16店**になっています。



おしりふきの販売

- ・ベビ*ステ事業実施前の2015年は、市内**40%**のコンビニでおしりふきの販売がありました。
- ・事業5年目（2019年）には市内**79%**のコンビニでおしりふきの販売があります。
- ・近隣の**A市ではおしりふき**を販売するコンビニは**12%**にとどまっています。（2019年）
- ・登録店では、紙おむつとおしりふきの併用販売率が高いです。当事業をきっかけに、自主的におしりふきを販売してくれています。



こころのサポート

講習会の開催

- ・登録施設は全て**子育てを理解するための講習**を受講しています。
- ・講習会受講者は**延べ89名**になります。
うち男性参加者は**延べ55名**です。



本部の意識を高めるため、本部社員向けに講習会を実施してもらいたいです。

→2017年に静岡事務所にて実施済

㈱ファミリーマート
本部担当者

お店側からの声



荷物が重そうなお客様や抱っこが大変そうなお母さんには、車まで荷物を運んであげることもあります。

ベビーカー入店は当たり前のことだと思っていたけど、来店を躊躇するお母さんがいることに驚きました。



講習会が素晴らしいのでダイバーシティ担当者にも受講してもらいました。子育て支援への理解が深まりました。



㈱セブン-イレブン・ジャパン本部担当者

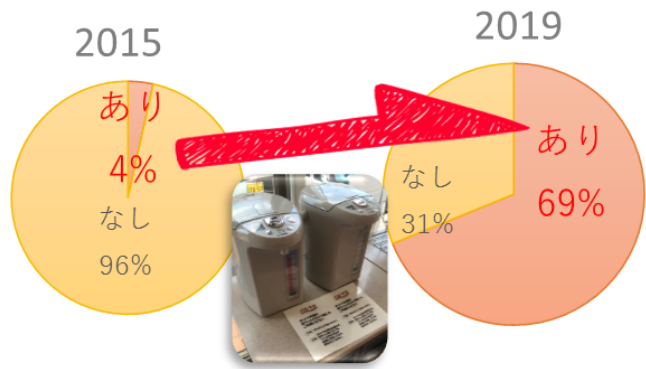


連休時などには紙おむつやベビー麦茶が売れるようになりました。土日はミルクのお湯の利用が多いです。

モノのサポート

ミルクのお湯提供

- ・登録店にはミルクのお湯提供POPの設置をお願いしています。
- ・POP掲示店舗は **4%から69%**と大幅に増えています。
- ・当事業をきっかけに、自主的に調乳用ポットを設置してくれる店舗も出てきました。
- ・親たちへの外出支援の一助となっています。

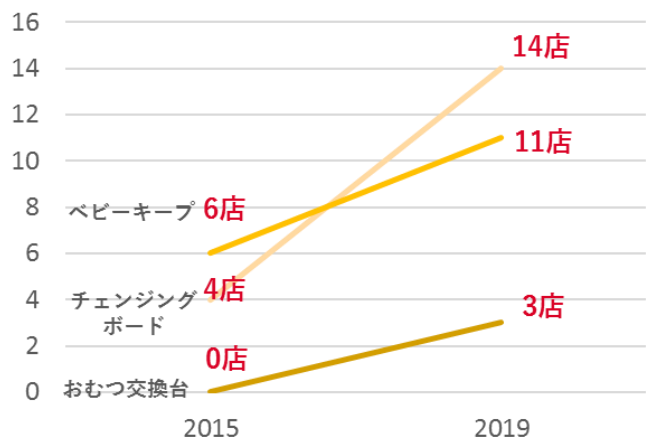


トイレ設備

- ・富士宮市は当事業開始と同時に登録コンビニを対象に、**おむつ交換台やベビーキープなどに対して設置費用の一部を補助する「施設改修補助金」を設置しました。**
- ・この補助金の活用により、乳幼児連れの利用の多い店舗や店舗改装のタイミングに合わせてトイレ設備の拡充が進みました。
- ・コンビニにおいておむつ交換台が設置されていることは極めて稀なので、親からのニーズは高いです。



ベビーキープ チェンジングボード おむつ交換台



その他

- ・当事業をきっかけに、**乳幼児向け菓子や赤ちゃんの水、粉ミルク、離乳食**を販売してくれる店舗が出てきました。
- ・2019年3月に販売が開始された**液体ミルク**の試験販売をする店舗もあります。

こころのサポート

ママたちの声



Q.ベビ*ステを知っていますか？

知っています

86%

3歳未満
子育て親



Q.ベビ*ステに行ったことがありますか？

行ったことがあります

74%

3歳未満
子育て親



コンビニにはベビ*ステののぼりがあるか確かめてから入ります。

他市に行った時、コンビニに紙おむつが売ってなくてビックリ。そこでベビ*ステが市内独自の事業と知りました。



泣いていた我が子をぬいぐるみであやしてくれた店員さんに感動！

ベビーカーで入店する時、店員さんがドアを押さえてくれて本当に助かりました。



今後取り組むべき課題

●モノのサポートの発展

これまでの環境整備によりベビ*ステは、子連れで外出時の「いざという時の安心」という存在になってきています。今後さらに、外出を実質的に支援する存在となるため、ベビ*ステ登録店、子育て当事者を巻き込んで理想のベビ*ステづくりに取り組みます。

●こころのサポートの推進

当事業が掲げる「みんなで子育てする社会」を実感できるまでには至っていません。産後うつや乳幼児虐待の予防のために、社会全体での子育ての協力体制づくりが必要です。若い世代、高齢者世代へも働きかけ、ベビ*ステの認知・理解を通して子育ての協力体制づくりを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年までに世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるための国際目標です

ベビ*ステ事業を更に発展させ、子育てをみんなで応援しようというまちづくりのモデルケースを確立させることで、持続可能な社会の実現に寄与し続けます。

ふじのみやベビーステーション事業体制

コンビニ

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社ファミリーマート
ミニストップ株式会社
株式会社ローソン



富士宮市

富士宮市長 須藤秀忠
市民交流課 女性が輝くまちづくり推進室
企画戦略課
情報発信課



NPO

NPO法人母力向上委員会
プロジェクトメンバー

ご寄付

企業版ふるさと納税
アサヒ飲料株式会社 (2017年度~)
株式会社アリエ (2018年度)

ご協力

NPO法人中部プロボノセンター
プロボノメンバー第二期 (2015年度)



2015年企業×NPO協働アイデア
コンテスト最優秀賞受賞



2016年ベビ*ステ登録開始



2019年北村誠吾内閣府特命大臣
(地方創生担当大臣)が視察



コンビニや企業と意見交換を
しながら進めています

お問い合わせ

富士宮市 女性が輝くまちづくり推進室

☎ 0544-22-1307

✉ koryu@city.fujinomiya.lg.jp

NPO法人母力向上委員会

☎ 0544-78-0741

✉ mail@haharyoku.com

本誌は「ふじのみやベビーステーション事業社会的インパクト評価報告書」のダイジェスト版です。本誌の資料請求は上記までご連絡ください。